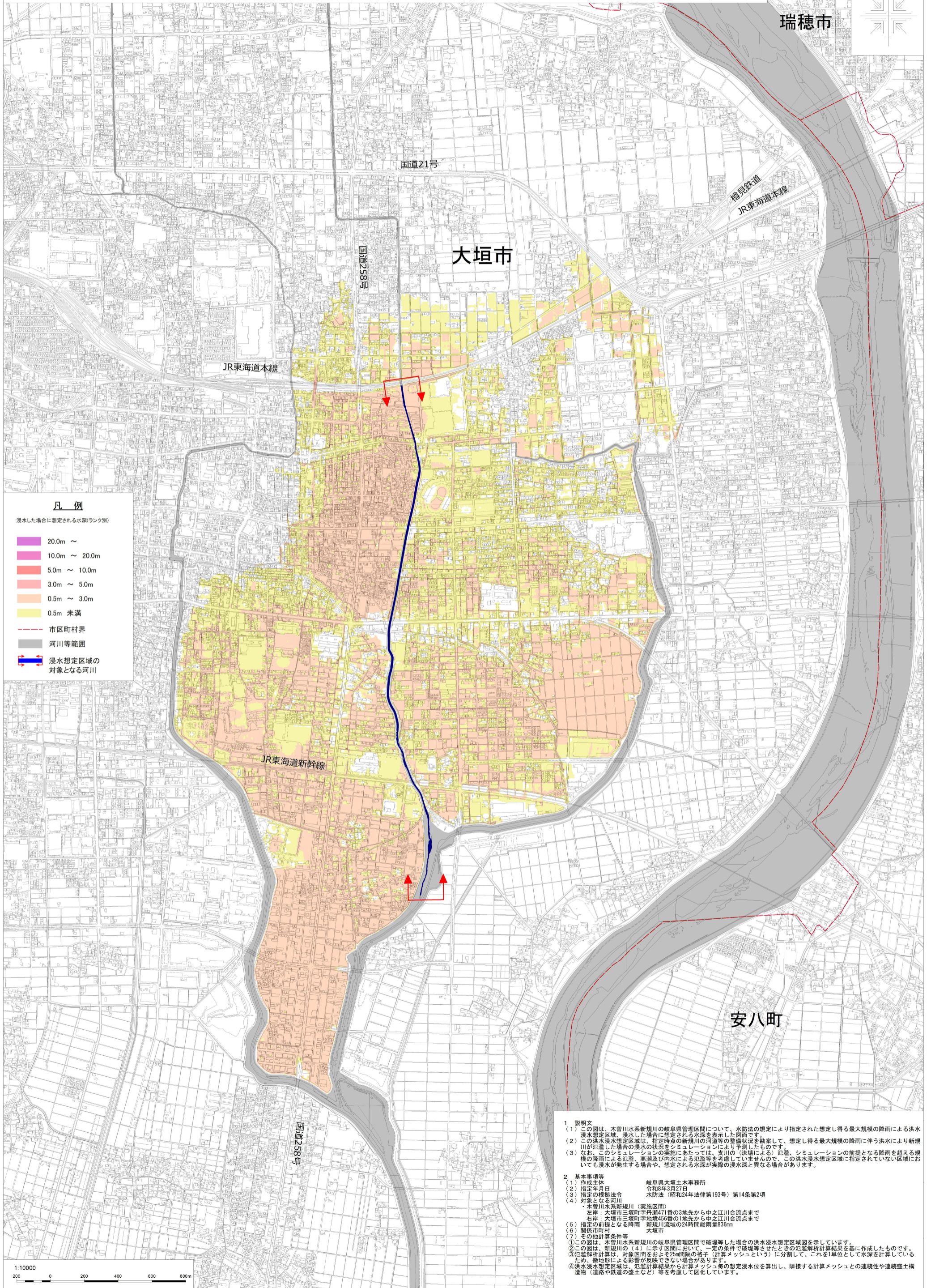


# 木曾川水系新規川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



- 凡例**
- 浸水した場合に想定される水深(ランク別)
- 20.0m ~
  - 10.0m ~ 20.0m
  - 5.0m ~ 10.0m
  - 3.0m ~ 5.0m
  - 0.5m ~ 3.0m
  - 0.5m 未満
- 市区町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の対象となる河川

1 説明文  
(1) この図は、木曾川水系新規川の岐阜県管理区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。  
(2) この洪水浸水想定区域は、指定時点の新規川の河道等の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により新規川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。  
(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合は、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等  
(1) 作成主体 岐阜県大垣土木事務所  
(2) 指定年月日 令和8年3月27日  
(3) 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項  
(4) 対象となる河川 木曾川水系新規川(実施区間)  
左岸: 大垣市三塚町字丹淵471番の3地先から中之江川合流点まで  
右岸: 大垣市三塚町字地境456番の1地先から中之江川合流点まで  
(5) 指定の前提となる降雨 新規川流域の24時間総雨量630mm  
(6) 関係市町村 大垣市  
(7) その他計算条件等

①この図は、木曾川水系新規川の岐阜県管理区間で破堤等した場合の洪水浸水想定区域図を示しています。  
②この図は、新規川の(4)に示す区間において、一定の条件で破堤等させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。  
③氾濫解析計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。  
④洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7JHs 811)」